



令和3年度 さんらいずホール 事業報告

職員異動状況

入職 正規職員 0名 嘱託職員 0名 パート職員 0名
 退職 正規職員 2名 嘱託職員 0名 パート職員 1名
 ※ 育児短時間勤務職員 1名 育児休業取得職員 1名

1、「わたし」一人ひとりを大切に捉え個別支援を柱とした事業展開から質を高めます
 サービス提供の基礎となる個別支援がきちんと展開されていなければ安定的運営や発展には繋がり
 りにくく、一人ひとりから私たちは思考を巡らせ学ばせていただき必然と見える地域の福祉事業
 所とし望まれるサービス提供のカタチを部門として叶え実践的にお返ししていく事を旨とする事と
 し掲げさせていただきました。

◆実施項目1 さんらいずホールクリーナスマーケティングの開催 毎月1回

実施：4月15日（木）、5月13日（木） 書面確認のみ、6月17日（木）、7月15日（木）、
 8月12日（木）、9月16日（木）、10月14日（木）、11月18日（木）、12月16日（木）
 1月20日（木）、2月17日（木） 書面確認のみ、3月17日（木）

出席者：法人常務理事、法人事務局長、法人施設運営人材育成アドバイザー、管理責任者、各事業責任者
 稼働率：

事業所名	さんらいずホール			らくどう	くらら		グループホーム	
提供事業	移行支援	継続B型	生活介護	継続B型	継続B型	生活介護	円居	やわらぎ
年間稼働率	18%	69%	82%	67%	83%	74%	78%	97%

毎月重ねるクリーナスマーケティングでは各事業所の稼働状況の確認をする中で個人の利用稼働率を捉え、その稼働推移から個別ケースに対しどのように視点を置き、改善を図れば本来の支給決定を余すことなく満足にご利用を頂けるかを協議する場とし開催継続しております。事業再編という大きな変革ある年度の開始から日常形成と活動理解が図られ感染症対策という大前提と、その影響はあるものの、事実上の規模縮小により個々人の顔がきちんと見える運営に努めることが出来、旧来体系で疲弊した職務意識の回復も自主研修機会を起因とし効果が伺い知れた年度終期となりました。前年から続く定員割れ事業がある事含み稼働率低迷が減収要因と直結していることは明白であり、事業計画に基づく予算数値が目標であると共有した中でも感染症対策を最優先とする中で積極的な営業活動も制限せざるおえず、今年度具体的な新規獲得数は事業全体で3名となりました。目標収入実績の達成率は年間平均 90%であり現在ご利用いただく皆様には安定した作業またはプログラム提供が継続できています。工賃支給も含み社会経済活動に携わる具体的対価という個々の収入増がご利用者の満足度向上の一つと捉えておりますが、短期的かつ即時的な回復は難しい実状をきちんと捉え共有し、回復改善に尽力すべく、今やるべきことの実施と確認を着実に積み重ねて参ります。



また、事業所での取り組みを知り将来働く事や活動のイメージを高めてもらう機会提供とし養護学校の実習生を年間通しお受入れしています。令和3年度実習機会を経て、卒後の進路先と担当法人障がい事業へ2名新規のご利用を頂きます。併せ当年度は1学年、2学年の実習体験機会も提案設定させて頂き、繋ぐ令和4年度には2・3学年、年間計10名の生徒さんの実習依頼を現状頂くことが出来ております。今後も地域にある養護学校との繋がりを大切に、個々の課題ばかりに捉われるのではなく卒後、社会の中で活躍できる自分の姿が想像でき希望ある進路選択へ繋がる機会提供とし、実習や体験等を行えるよう全体とし努めて参ります。

◆実施項目2 個別支援計画立案にかかるスキルアップ機会の実施

出席者：管理者、サービス管理責任者、リーダー、各事業計画作成担当者

・7月21日(水) 第1回 個別支援スキル向上隊 会議実施

現状と課題に感じる点を意見とし参加者全員が発言する形で進行し、ツールに捉われ埋める事に終始しがちな傾向にあり本来重要となるアセスメント観点が脆弱的である為に本計画やその達成を確認するモニタリングが慢性化しがちであるということに参加者が気づきを持ち改善の必要性を見出す初回会議となりました。

・10月7日(木) 自主研修会提案・企画実施

法人介護部門で実践されている、らいふサポートシートに大事なアセスメント観点と個人を知るということを具体的な形にした取り組みを学ばせて頂きたいとの考えに至り、介護部門職員へ講師依頼をし実践と効果を学ぶ研修会を企画実施させていただきました。(法人内参加職員数計22名、内障がい部門職員12名)

・11月4日(木) 第2回 個別支援スキル向上隊「ツール検証①」 会議実施

個別支援計画のツール改正を目標に10月研修を受けたことを踏まえ、実際にらいふサポートシートをグループホームにて1名作成してみた事例に基づき会議にてツール検証を行いました。視点観点を加えることで深みを増し、より効果的な内容に近づける為の意見を反映した書式にて全部署が1例、再作成してみることで更なる実感伴う研鑽に繋がるよう次回会議に向けています。

・12月28日(火) 第3回 個別支援スキル向上隊「ツール検証②」 会議実施

作成を通じ実感伴う意見を出し合える会議となりました。再度反映すべき項目を追加し、新たな障がい部門の個別支援計画ツールを年度内に完成させるものと確認しています。作成する目的・意図を踏まえると相手を知ることから始まり、ご利用者やご家族が同じ方向性を捉え見て個々の目標達成を積み上げ、明文化されることでその歩みが証明されるツールとし個々が地域生活を送る上で胸を張って生きていける応援の形としご提案できることを予定としています。

・個別支援計画ツールにつきまして当会議機会と内容反映を経て、新書式考案を重ね、令和4年度より運用する提案に至っており、当年度の取り組み成果とさせて頂いております。

・ 1月29日(土) 障がい部門実践事例発表会の実施

参加者：法人常務理事、法人事務局長、部門内職員 35 名（参加率 88%）
令和1年度より実行し今期で3回目となる自主研修企画開催となり、今年度は感染症対策の為にリモート会議アプリを活用した形にて計8事業の報告発表となりました。各事業が年度を通じ自部署ケースの実践またはプロジェクト取り組み成果をまとめる為、プレゼンテーション型での作成準備して頂いております。例年苦労も伴う反面、その作成経過にも効果あることを職員個々が実感経験しており、年々その作成スキルや工夫創造力を高めることができいております。支援展開や内容の未熟さは依然ありますが、ただ経過していく毎日でなく実証とし次に繋ぐ意義や自信となった事、部署としての協調性を高められた効果、まとめる過程や他事業の発表を聞く中で新たな課題や気づきを持つことが出来ました。

◆実施項目3 適切なサービス提供を行うための運営基準の再整備

担当者：管理者、サービス管理責任者、役職者

- ・ 就労継続 B 型の報酬体系が改定・再編される中で前年度まで取得しておりました施設外就労加算（1日1名100単位）が廃止となり予算上においても減収となりました。制度的には一般就労への移行や工賃向上を図る為に有効であると促進されてきた経緯があり当部門としても長年外部企業へ出向き仕事をさせて頂いてきました。この度の改定を受け、加算は無くなりましたが働く者にとっては目的あり継続実施してきたものと確認し、個々の作業習熟度を高める為、引き続き外部作業と振返りシートを継続実施しております。
- ・ 実施内容とし令和4年度には義務化となる虐待防止委員会の設置準備を計画し管理者、役職者が研修機会に参加させて頂き体系化整備を計画しますが、取り組み未実施となります。
- ・ 当年度は2つの拠点エリア5事業について、長野県実地指導監査が行われました。

実施事業…令和3年11月19日 くらら就労継続B型・くらら生活介護

令和3年12月8日 さんらいずホール就労移行支援・就労継続B型・生活介護
監査での指摘改善事項なく、適正運営との結果を頂いております。日頃から求められる基準を達すことは基本とし、称賛頂いた丁寧な個別記録等を継続し行って参ります。

2、「はたらく」役割ある活動にこだわり追求します

一般就労と工賃向上の個々の目標達成を応援することは基より、単なる個人の収入増だけを捉え叶えるのではなく、働くということを通じてご利用される方々が得られるものが多くあるその重要性に着目し、こだわり追求する事とし掲げさせて頂きました。

一般就職者実績（参考）：	令和 1年度	就労移行支援2名	就労継続B型4名	計 6名
	令和 2年度	就労移行支援2名		計 2名
	令和 3年度	就労移行支援2名	就労継続B型2名	計 4名

◆実施項目1 ワーカーズプロジェクトの始動

主催者：就労移行支援 参加者：各事業作業担当者

- ・就労移行支援が主催となり会議実施しております。新規ご利用者獲得の為に関係機関営業活動についてはコロナ禍に阻まれる状況はありますが上半期にて始動に至っております。根拠に基づいた業務遂行を行うべく当年度を通し営業活動や工程表の根幹となる「ご利用者の働く」という概念整理を優先項目の一つとし取り組んでおります。その背景には働く概念が個々に違い、擦り合わせる事が出来ないまま勝手な価値観や方向性の元に事業を遂行すると福祉環境下において職員の自覚なき差別意識が事業進捗の課題となり、ご利用者の選択決定のプロセスを阻み、持てる力を発揮できる機会を少なくしてしまうリスクを含んでいることや職員自身も組織としチーム支援展開が難しくなることも予測されます。働く概念整理はご利用者と私達職員のために今一度必要な時間となり絶望や制限による苦労ばかりではない夢や希望につながる事業展開の根幹を、本プロジェクトを通じ確認し事業展開していきたいと考えており、取り組み内容を第Ⅱ期に移行させ次年度にも継続を致します。
- ・全作業工程表作成に取り組んでおります。作業を職員が指導するものではなくご利用者や職員が隔てなく働く者として一つの基準に基づき、個々の分担や役割が仕事としてきちんと果たせ、そして果たしたことが確認できるものとし作成しています。また、その意味を理解した活用をすべく点検整備を繰り返して参ります。
- ・本プロジェクトの今年度優先的に取り組む「働く概念整理」につきましては障がい部門実践発表会の機会を持ちまして報告と職員共有をさせていただいております。

3、「あんしん」ある日々を目指し自然災害と病気から守るための整備に努めます

感染症まん延防止とし法人一丸となる基礎対策を実施して参ります。「命を守ること」に繋がる事とし常日頃から行う健康増進を図る為の取り組みと各リスクに対する具体的な整備強化と知識・経験を備えとし高め、安心ある地域生活とサービス利用に向け努める事とし掲げさせて頂きました。

障がい部門健康委員会 年4回計画 … 7月5日(月)、9月27日(月)、12月20日(月) 実施

参加者…法人常務、事務局長、法人看護アドバイザー、管理責任者、看護師

- ・実施計画を立案し健康員会にて内容検証と共有を実施しております。4月看護サマリーの更新、9月血液検査実施とその結果集計を行い、状態傾向を捉えた上で健康増進と啓発への取り組みとし11月23日障がい部門健康教室の企画実施をしております。(参加者総数44名)健康教室では外部講師の方を招聘し、脂質異常への理解と対策の講義と合わせ日常に取り入れられる体操を実施しご利用者・職員・ご家族に参加を頂き大変好評ある機会となりました。
- ・健康通信発行、年4回を予定しておりますが計画通り発行致しました。
第1号…6月の通信では脂質異常について着目し専門職による知識助言が主となり、
第2号…9月の通信にて実際に運動実践した取り組みと効果、栄養士から提供されたレシピ



に基づいた調理実践報告を掲載しより身近な通信内容となりました。

第3号…12月の通信にて健康教室の様子や学んだことを改めて発信し、部門ご利用者の血液検査結果からの脂質異常の割合等、結果に基づいた知識理解をお伝えする内容となりました。

第4号…年度末3月の通信では、健康通信や健康員会からの啓発的な健康増進に対し、部門内事業所職員やご利用者はどのように考え捉えて頂いているかという事に対し感想や変化を伺い知る内容となりました。健康増進は日々少しの気遣い、心配りと努力の賜物とし、毎日お顔合わせ社会活動を共にできている事に感謝をお伝えさせて頂いております。

○感染症予防対策について

引き続き一事業所の対処対応ではなく法人組織としご利用頂く皆様とそこご家族関係者をウイルスの脅威から守る事を最重要事項とし対策強化に努めております。

- ・事業再編に伴い、感染症具体的対応マニュアルを令和3年度版とし全エリアにて改編運用し、マニュアルに基づく対策実施ある日々の業務遂行を行っております。
- ・感染症拡大に伴うご案内（お願い）通知文発信させて頂きご利用いただく皆様とご家族協力の元、まん延防止に取り組んで参ります。

令和3年4月21日通知 第8報：ゴールデンウィークにかかり感染症まん延防止の為の行動自粛や注意喚起含む改めてのお願い

令和3年8月6日通知 第9報：お盆・夏休みにかかり感染症まん延防止の為の行動自粛や注意喚起含む改めてのお願い

令和4年1月6日通知 第10報：変異ウイルスまん延にかかり対策強化の為の行動自粛や注意喚起含む改めてのお願い

- ・ワクチン接種の実施について

職員のワクチン接種につきまして、東御市また法人、セントラルクリニックにご配慮いただいたことにより実施しております。

職員のワクチン接種 1回目 4月20日、21日 2回目 5月11日、13日
3回目 1月28日、31日

ご利用者のワクチン接種につきまして、セントラルクリニックの来訪協力によりさんらいずホールを会場とした環境的また心的負担の少ない形で接種の実施を行う事ができております。

市内ご利用者ワクチン接種 1回目 6月25日 2回目 7月16日 3回目 1月28日

市外ご利用者ワクチン接種 1回目 8月3日 2回目 8月24日 3回目 2月24日

- ・長野県による福祉施設従事者等に対するPCR検査の実施について

1回目 2月8、9日 43名全職員陰性 (-) 2回目 2月16日 42名全職員陰性 (-)

3回目 3月9日 41名全職員陰性 (-) 4回目 3月24日 42名全職員陰性 (-)



- ・法人としセントラルクリニック協力の元、事業運営にかかり確実性のあるPCR検査体制の実施をいただけることで新規利用体験や実習受入の機会継続ができ、安心安全あるご利用へと繋がっております。
- ・令和3年度感染症発生時にかかる業務継続計画を策定整備し部門内共有と運用をしております。年度が改まるにつき今後改正版を策定予定です。

4、「くらし」ある東御市で活動する者とし地域参画とその方策を探ります

様々な人達の支えと協力があり成り立っている事から地域連携は不可欠であり、個人の尊厳あり役割を果たせる生活応援と合わせ、現状の事業所活動から地域参画や貢献の方法を模索していく事とし掲げさせていただきました。

- ・東御市地域支援事業の活性化の一つとし自立生活体験事業をグループホームやわらぎにて実施しております。地域で自立した生活の練習機会とし宿直職員体制の元、事業の主旨を踏まえたご利用の流れを事前にご案内し、お一人当たり年24日という決められた支給範囲の中で出来たことの積み上げと確認を重ねております。経験したことでご本人が想定や想像が出来なかった未来の生活像をより具体的にイメージできるようになったことやご家族の心配を、体験を通じることで確認できる機会にも繋がっております。
現状では感染症まん延期に伴い予防措置とし令和4年1月より当事業を一時休止しております。感染症状況を鑑み、出来る対策を備え、次年度の再開時期を検討して参ります。
- ・自主的な地域貢献活動機会についてはエリア毎不定期実施となっております。感染症対策を踏まえ地域で活動する一員とし環境整備等、貢献的に行うべきことを実施継続していきたいと考えております。

5、働き関わる人財を大切にします

日々の業務に追われ、こなすのではなくその意味や意図を個々が考え、物事の理解をきちんと深め、自らの意志と意欲を伴った業務遂行への繋がるよう企画や研修を継続実施し、長期的な運営の安定化に繋げる実施項目とし掲げさせていただきました。

◆基準や根拠に基づいた業務遂行とその達成評価するための人事考課等E-WORK制度運用

(わかさキャリアコンシェルジュへ法人とし外部委託)

- ・障がい部門人事考課評価項目の見直しを実施し従来運用してきたものを一部改変する形でわかさコンシェルジュと協議を重ね、当年度評価より改定版を反映し実施させていただきました。実施後の改定効果と今後の課題抽出を引き続き検証していきます。
- ・評価者となる役職者の経験と習熟度が全体的に浅い為、項目改定した評価実施後、

令和4年度事業計画において第二段階とし考課精度向上に向けた考課者訓練の実施と運用検証含む研修機会をわかさキャリアコンシェルジュへ依頼予定とします。

◆主体的な研修や学習の機会、職員と利用者ご家族隔てのない親睦の機会の必要性を再確認し「たのしみ隊」「まなび隊」の職員構成をとり企画実行を行います。

・「たのしみ隊」…職員構成は選任しておりますが、全体余暇行事につきましては感染症まん延予防の観点を含み実施できておりません。

・「まなび隊」…リモート会議アプリ Zoom を活用した職員研修の下記企画実施補助

4月30日(金) 感染症予防のための自主研修 34名参加 (参加率81%)

10月7日(木) 介護部門の実践と効果を学ぶ自主研修会 障がい部門11名参加

12月17日(金) 障がい部門感染症予防研修 講師：長野県看護協会より3名

内容：手洗い手指消毒、個人防護具の着脱方法の実践研修

場所：北御牧公民館3階講堂 32名参加 (参加率78%)

1月29日(土) 障がい部門自主研修 実践事例発表会 リモート実施

法人常務理事・法人事務局長・職員35名参加 (参加率88%)

◆研修の機会推進に努めます

・法人研修への参加

5月17日(月)～6月11日(金) 法人新入職員研修 (基礎座学編)

管理責任者、就労移行支援職員 計4名参加

7月2日(木) 法人褥瘡予防研修 障がい部門看護師1名参加

11月29日(月) 法人感染症予防研修会 5名参加

・小林人材育成アドバイザー研修 (令和3年11月末終了)

継続的なリモートによる個別面談と障がい福祉に携わる事の概念整理含む、根拠ある職務に繋ぐ為の段階的な育成研修を依頼し、着実丁寧な実施機会を頂きました。

4月28日～9月22日 毎週水曜 定期実施 リーダー職2名研修

10月6日～11月予定 毎週水曜 定期実施 就労移行支援研修

9月30日～11月予定 毎週木曜 定期実施 障がい福祉基礎研修Ⅰ～Ⅲ

11月12日(金) 作業工程表作成にかかる研修会Ⅰ 計9名参加

11月26日(金) 作業工程表作成にかかる研修会Ⅱ 計9名参加

・外部研修への参加状況 (リモート実施)

6月21日(月)～28日(月)の間 長野県相談支援従事者 初任者研修 講義部分Ⅰ 2名参加

7月19日(月)・20日(火) 強度行動障がい支援者養成 基礎研修 1名参加

7月14日(水)・15日(木) 長野県相談支援従事者 初任者研修 演習部分Ⅰ 2名参加



- 8月27日(金)・9月28日(火)、29日(水) 長野県相談支援従事者初任者研修 演習部分Ⅱ 2名参加
- 9月6日(月) 長野県知的障害者福祉協会主催 チーム支援力向上セミナー 1名参加
- 10月15日(金) 長野県知的障害者福祉協会主催 リスクマネジメントセミナー 2名参加
- 11月12日(金) 長野県知的障害者福祉研究大会 虐待がうまれない地域づくり 2名参加
- 12月7日(火) 社会福祉施設等における感染症まん延防止及び防災対策研修会 2名参加
- 12月14日(火) 長野県社会福祉協議会主催 地域共生フォーラム 1名参加
- 2月3日(木) 長野県福祉就労強化事業 工賃向上計画セミナー 2名参加

6、その他全体事項

- － 障がい部門全体職員会 (リモート実施) 令和3年4月16日(金)
- － 法人新入職員研修 開講式 令和3年5月17日(月)
- － 令和2年度決算に伴う法人監事監査 令和3年5月21日(金)
- － 令和2年度決算 法人理事会・法人評議員会 書面決議
- － らくどう地震火災避難訓練 令和3年5月24日(月)
- － さんらいずホール火災避難訓練 令和3年6月10日(木)
- － 法人新入職員研修 座学閉講式 令和3年6月11日(金)
- － 障がい部門全体職員会 令和3年7月8日(火)
- － さんらいずホール・くらら・らくどう 水害避難訓練 令和3年9月27日(月)
- － くらら血液検査 令和3年9月28日(火)
- － さんらいずホール・らくどう血液検査 令和3年9月30日(木)
- － インフルエンザ予防接種1回目 令和3年11月5日(金)
- － 障がい部門 胸部レントゲン健診 令和3年11月17日(水)
- － くらら 長野県実地指導監査 令和3年11月19日(金)
- － グループホーム円居・やわらぎ 水害避難訓練 令和3年11月28日(日)
- － さんらいずホール 長野県実地指導監査 令和3年12月8日(水)
- － インフルエンザ予防接種2回目 令和3年12月27日(月)
- － 障がい部門自主研修 実践事例発表会(リモート) 令和4年1月29日(土)
- － ちいさがた福祉会理事長訓示式 令和4年2月16日(水)
- － グループホーム円居・やわらぎ 火災避難訓練 令和4年3月13日(日)
- － さんらいずホール地震火災避難訓練 令和4年3月22日(火)
- － くらら火災避難訓練 令和4年3月23日(水)
- － らくどう火災避難訓練 令和4年3月29日(火)
- － くらら地震火災避難訓練 令和4年3月29日(火)